

# 令和元年度 事業報告

令和元年1月1日から令和元年12月31日まで

一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟

大会詳細は「2019 JBCF Road & Track Series レース開催スケジュール」参照

## 1. JBCFロードシリーズ

- ・J Pro Tour は①宇都宮ブリッツェン、②マトリックスパワータグ、③シマノレーシング、④チームブリヂストンサイクリング、⑤那須ブラーゼン、⑥LEOMO Bellmare Racing Team、⑦イナーメ信濃山形、⑧VICTOIRE 広島、⑨弱虫ペダルサイクリングチーム、⑩KINAN Cycling Team、⑪東京ヴェントス、⑫FIETS GROEN 日本ロボティクス、⑬VC 福岡、⑭Honda 栃木、⑮なるしまフレンド レーシングチーム、⑯群馬グリフィン、⑰eNShare- エルドロード、⑱Team UKYO の全18チームが加盟した。大会は全14ラウンド、全22レースの予定であったが、台風6号の影響によりタイムトライアルチャンピオンシップ(個人TT)が中止となり、全14ラウンド、全21レース、2エキシビション(幕張新都心クリテリウム、さがみはらクリテリウム)が行われた。年間個人総合優勝はオールイス アルベルト選手(マトリックスパワータグ)、年間チーム総合優勝はマトリックスパワータグが獲得した。
- ・J Elite Tour は、全25ラウンド、全45レースの予定であったが、タイムトライアルチャンピオンシップ(個人TT)および仙台卸町クリテリウムが中止となり、全25ラウンド、全43レースが行われた。個人総合優勝は比護 任(イナーメ信濃山形-EFT)が、本年より新設された年間クライムポイント1位は坂口 裕芳(soleil de lest)が、スプリントポイント1位は比護 任(イナーメ信濃山形-EFT)が、年間チーム総合優勝はイナーメ信濃山形-EFTが獲得した。
- ・J Feminin Tour は全25ラウンド、全31レースの予定であったが、全24ラウンド、全30レースが開催され、個人総合優勝は唐見 実世子(弱虫ペダルサイクリングチーム)が獲得した。
- ・J Youth Tour は全6ラウンド、全6レースが開催され(前年は全2レース)、永塩 幸之介(群馬グリフィンエリート)が獲得した。
- ・初めての試みとして、同会場で土日2日間に渡って開催されるレースをラウンド制としてカウント。また、J Elite Tour にクライムポイント、スプリントポイント制を導入して年間表彰を行った。

## 2. JBCFトラックシリーズ

- ① 5月5日 第53回JBCF西日本トラック(和歌山競輪場)

- ② 6月22-23日 第50回 JBCF 東日本トラック(松本市美鈴湖競技場)
  - ③ 8月3-4日 第50回 JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ(松本市美鈴湖競技場)
- 上記3大会を開催した。

### 3. 登録状況

2019年末での登録状況は306チーム、2,542選手。前年比はチーム93.8%、選手88.8%となった。

また大会参加者数は10,239人(前年比86.0%)となった。

### 4. 競輪公益資金補助事業

下記ロードレース4大会、トラック3大会を開催し、普及促進及び競技力の向上を図った。

- ① 4月20-21日 第53回 JBCF 西日本ロードクラシック(広島県中央森林公園)
- ② 4月27-28日 第53回 JBCF 東日本ロードクラシック(群馬サイクルスポーツセンター)
- ③ 5月5日 第53回 JBCF 西日本トラック(和歌山競輪場)
- ④ 6月22-23日 第50回 JBCF 東日本トラック(松本市美鈴湖競技場)
- ⑤ 7月14日 第18回 JBCF 石川サイクルロードレース(福島県石川町・浅川町)
- ⑥ 8月3-4日 第50回 JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ(松本市美鈴湖競技場)
- ⑦ 9月21-22日 第53回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ(広島中央森林公園)

### 5. 各種講習会

・1月13日、2月9日に「JCF 公認チーム・アテンダント講習会／アンチドーピング講習会」を開催した(参加者数はそれぞれ78名、78名)。

### 6. JBCF 連盟体制及び事業方針発表会

3月2日、東京都中央区銀座にて「プレシーズンカンファレンス」を実施し、連盟理事からの挨拶や方針説明、及び J Pro Tour 各チーム選手からシーズンに向けての意気込みが語られた。

### 7. 公式ガイドブック

JBCF ロードシリーズの連盟公式ガイドブックを1万部発行し、各会場で販売した(定価1,000円・税込)。各チームには一定数を無償提供し、自由に活用して貰う形とした。

### 8. サイクルモード

今年もサイクルモードに「JBCF ブース」を出展した。J Pro Tour 各チームの監督や選手、理事によるトークショーを4回行った。またステージにて年間アワード表彰式を行った。

## 9. 新リーグに向けた取り組み

- ・JBCF レースの価値を高めるための施策として、各ツアー及び JBCF のロゴを刷新、統一されたデザインによる S/F ゲートや競技テントの導入、ファン向けの EXCINTING TICKET 販売等を行った。
- ・新規スポンサーとして株式会社あさひ、江崎グリコ株式会社、株式会社ちやりカンパニーとオフィシャルパートナー契約を締結した。
- ・「J プロツアー特別指定選手制度」を策定し、JPT レースの活性化を図った。
- ・株式会社アールビーズと共同事業に関して合意、2020年より JBCF・RBS チャレンジシリーズのスタートを決定した。

以上